

6班 アンドロジニー



テーマはアンドロジニーです。一人の人間は自分の中に、男性性も女性性も併せ持つことができると考え、そのような状態のことをアンドロジニーといいます。

最近では男女の境界がないファッションが社会的に認められはじめ、大勢のデザイナーが性別による違いの少ない、男女の境界があいまいな最新のトレンドを取り入れています。



6-1



2体を並べた時に男性らしさも女性らしさも感じるものにしたかったので、スカートをただ染めるだけでなく男性と女性のためのグラデーションをイメージしました。また男性(女性)らしくいないといけないという考えがなくなるよう弾けさすイメージでシャボン玉を用いて染色しました。



アイデア考察と調査のところで調べた内容を元にデザインを考えました。ジャケットの形は男性と女性のどちらにでも着られるテーラードジャケットにし、女性らしさを除く為、胸の部分は立体的に作らず、両袖口にはフリルが二重になっています。また、ボタンはどちらにつけるか迷った果てにどちらにもつけないという選択をしました。



スカートの下に履くパンツを作りました。男性と女性の区別がなくどちらでも着ることができるように、身体のラインを隠すことができるデザインのパンツにしました。

ボーイッシュで直線的なシルエットになるように意識してつくりました。

6-4



シャツの大まかなシルエットを決めて、少し現代っぽさも取り入れるため肩のラインが落ちたデザインにしました。丈感はお尻が隠れるくらいにし、ボトムスにinできる長さにしました。

そして、フリルの位置や形など細かいところを決めました。

6-5



男女どちらも使えるというのがテーマだったので、バッグは女性らしいハンドバッグなどではなく、ドクターバッグを雰囲気デザインしました。蝶ネクタイは、シンプルなセミバタフライの蝶ネクタイをデザインしました。



アンドロジニー(ユニセックス)がテーマなので、男女兼用で着られるスカートを作ろうと考えました。いろいろと調べて、たくさんのデザインのスカートをみつけましたが、男性のことも考えたうえで、女性も男性でも着やすいロングスカート(女性らしさもあるティアードスカート)を作成しました。

6-7



女性用のシャツは体にフィットし、体のラインが出るようなシルエットになっていますが、今回の制作では性別関係なく着られるように体のラインの出ない、ゆったりとした大きめのシルエットに仕上げ、袖回りもゆったりとしたワイドなデザインにしました。



デザイン作業では帽子をシンプルにしたため、3色の布を使用したコサージュを付け、華やかさを持たせるよう、花のデザインにした。ベルトは止めやすくするため、穴に通すタイプではなく、リングに通すタイプにした。